

2019年度 幼児教育学科 カリキュラムマップ

到達指標

- ①保育者の本質を理解し、保育者としての専門的知識に基づき、子ども理解に基づいた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。
 - (1)遊びを通した主体的・対話的で深い学びについて理解することができる。
 - (2)子どもの資質・能力を育むための、発達段階や環境を通した保育について理解することができる。
 - (3)子どもの生きる力の基盤を培うための、環境構成や援助の在り方について必要な知識を身につけることができる。
- ②保育の本質を基盤に、時代のニーズに柔軟に対応した保育実践及び改善を行うことができ、外部の資源を有効に活用することができる。
 - (1)教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。
 - (2)子どもの行為の意味に気づき、それらを分析・判断し実践に活かそうとすることができる。
 - (3)時代の変化や様々な価値観、地域の特性に対応できる柔軟性を身につけ、現状に合わせて改善し、外部の資源を有効的に活用することができる。
- ③保育実践に必要な保育技術や情報収集能力をもち、子どもとの関係を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。
 - (1)子どもの理解の理論及び方法や、援助するために必要となる多様な保育技術を身につけることができる。
 - (2)一人ひとりの子どもの理解に応じた援助や環境構成ができる。
 - (3)保育実践や社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につけ、職員や保護者などと柔軟に関わり連携することができる。
- ④豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資質能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。
 - (1)豊かな感性と教養を養い、理想の保育者像を描き、常に研鑽に努めることができる。
 - (2)社会事象や課題、子どもを取り巻く環境などに関心をもち、実践を常に振り返り、子どもの最善の利益のために新たな方法や手だてを行おうとすることができる。
 - (3)社会に貢献する使命感と責任感をもって、様々な課題に対応するために地域と連携し、積極的に行動することができる。

①知識・理解

②思考・判断・表現

③技能

④関心・意欲・態度

1 年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
専 門 科 目	前 期	子どもの家庭福祉	◎	○	◎	○
		保育原理	◎	◎	○	○
		発達心理学	◎	◎	○	○
		子どもの保健	◎	△	△	◎
		乳児保育Ⅰ	◎	◎	○	○
		保育入門演習	◎	○	◎	◎
		音楽Ⅰ	◎	○	◎	◎
		図画工作Ⅰ	◎	◎	◎	△
		国語	◎	○	○	○
	後 期	幼児と言葉	○	◎	◎	○
		ウィンドアンサンブル	△	○	◎	○
		教育原理	◎	○	△	○
		社会福祉	◎	○	○	○
		子どもの健康と安全	◎	◎	△	◎
		保育内容(人間関係)の指導法	◎	◎	△	○
		保育内容(言葉)の指導法	◎	◎	○	△
		乳児保育Ⅱ	◎	◎	○	○
		障がい児保育Ⅰ	◎	◎	○	○
専 門 科 目	後 期	保育技術演習	◎	◎	◎	◎
		音楽Ⅱ	○	○	◎	◎
		図画工作Ⅱ	◎	◎	◎	△
		幼児と健康	◎	○	◎	○
		保育実習Ⅰa	○	○	◎	◎
		実習指導Ⅰa	○	○	◎	◎
		ウィンドアンサンブル	△	△	◎	○

2 年次

科目	期	科目名	①	②	③	④		
専 門 科 目	前 期	教職論	◎	○	△	○		
		社会的養護	◎	○	◎	○		
		子どもの保健演習	◎	○	○	○		
		家庭支援論	◎	◎	△	○		
		保育内容の指導法(健康)	◎	○	◎	○		
		保育内容の指導法(造形表現Ⅰ)	○	◎	◎	△		
		障がい児保育Ⅱ	◎	◎	○	○		
		保育指導計画の方法	◎	○	◎	◎		
		応用音楽Ⅰ	○	△	◎	◎		
		幼児の運動と遊びⅠ	○	◎	◎	○		
		後 期	教職演習	○	○	◎	◎	
			幼稚園教育実習Ⅰ	◎	△	○	○	
			保育実習Ⅱ	○	○	◎	◎	
			実習指導Ⅱ	○	○	◎	◎	
			子ども基礎研究Ⅰ	○	○	◎	◎	
			ウィンドアンサンブル	△	△	◎	○	
			音楽理論	◎	○	○	◎	
			音楽心理学	◎	○	△	◎	
	器楽Ⅰ		○	○	◎	◎		
	シアター		◎	○	◎	◎		
	スポーツ・レクリエーションⅠ		△	◎	◎	◎		
	専 門 科 目		後 期	相談援助	◎	○	◎	△
				子どもの発達と学び	○	◎	◎	○
				保育臨床相談	◎	◎	○	○
				子どもの食と栄養	◎	○	○	○
				保育内容の指導法(環境)	○	○	◎	◎
				保育内容の指導法(造形表現Ⅱ)	○	◎	◎	△
				保育内容の指導法(音楽表現)	○	○	◎	◎
		教育方法論		◎	○	○	○	
		社会的養護内容		◎	○	◎	○	
		応用音楽Ⅱ		○	○	◎	◎	
		幼児の運動と遊びⅡ		○	◎	◎	○	
		幼稚園教育実習Ⅱ		◎	△	○	○	
		子ども基礎研究Ⅱ		○	◎	○	○	
		ウィンドアンサンブル		△	△	◎	○	
		音楽療法・基礎		◎	◎	○	○	
器楽Ⅱ		○		○	◎	◎		
保育教材研究		◎		◎	◎	△		
スポーツ・レクリエーションⅡ		◎		○	○	◎		
児童文化の展開	◎	○	○	◎				
特別支援教育Ⅰ	◎	○	◎	○				

3 年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
専 門 科 目	前 期	在宅保育	◎	◎	△	○
		子育て支援の基本	◎	◎	◎	○
		保育者のためのピアノⅠ	○	○	◎	◎
		保育実習Ⅰb	◎	○	○	○
		実習指導Ⅰb	◎	○	○	◎
		保育実務研修Ⅰ	○	○	◎	○
		保育実務研修Ⅱ	○	○	◎	○
		保育・教職実践演習Ⅰ	○	◎	◎	○
		子ども研究Ⅰ	◎	○	○	△
		ウィンドアンサンブル	△	△	◎	○
		音楽療法・臨床	◎	◎	△	△
		音楽療法総合演習	◎	◎	△	◎
		器楽と表現活動Ⅰ	○	○	◎	◎
	造形表現とところ	○	○	◎	◎	
	生涯スポーツⅠ	◎	○	○	◎	
	後 期	初級障がい者スポーツ演習	◎	◎	△	△
		野外活動	◎	◎	○	○
		特別支援教育Ⅱ	◎	◎	○	◎
		保育の研究	◎	◎	◎	△
		保育内容総論	◎	◎	○	○
		保育総合表現	△	◎	◎	○
		保育者のためのピアノⅡ	○	○	◎	◎
		保育実習Ⅲ	◎	○	○	○
		実習指導Ⅲ	◎	○	○	◎
		ボランティア実践	○	◎	○	◎
		子育て支援演習	○	◎	◎	○
		保育実務研修Ⅲ	○	○	◎	○
保育実務研修Ⅳ		○	○	◎	○	
保育・教職実践演習Ⅱ		○	◎	◎	○	
子ども研究Ⅱ	◎	○	△	◎		
ウィンドアンサンブル	△	△	◎	○		
音楽療法・技法	◎	△	○	○		
器楽と表現活動Ⅱ	○	○	◎	◎		
生涯スポーツⅡ	○	○	○	◎		